



2022年3月16日 No.9
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

建交労

2022年春闘・月間推進ニュース

3月6日～8日トラックパレード・キャラバン 福岡トラック部会が実施

福岡トラック部会は3月6日～8日にかけてトラックパレード・トラックキャラバンを行いました。6日のトラックパレードは福岡県本部の統一宣伝行動に呼応し、トラック部会として「九州一周トラックキャラバン」の出発式と位置づけ、トラック6台、10名の参加。自治体の仲間や学童・労職の仲間も参加し15名が参加しました。また福岡のトラック



パレードとしては初めてとなる、鹿児島県本部の福岡運輸支部の仲間がトラック2台、2名の参加もあり、トラックパレードは福岡市内を約1時間、トラック8台、乗用車7台、宣伝カー2台の計17台、総勢25名の仲間です。市民にアピールできた取組みとなりました。7日（月）は全国トラック部会・足立部会長も合流し、朝8



時から熊本駅前では建交労ビラ・ティッシュを240枚配布し、その後、熊本県本部に訪問し、長崎県までパーキング・サービスエリア・油槽所など計12か所でトラック運転手にトラックビラ・マスク・ボールペンを配布し、全国部会の取組みとしてコロナアンケートも同時に取り組みしました。長崎県では、長崎県本部に訪問し行動の報告と激励の挨拶を受け7日の

行動は終了し、8日（火）は朝8時から長崎駅前では建交労ビラ・ティッシュを250枚配布し、佐賀・福岡までのパーキング・サービスエリア・長崎トラックステーション、計6か所を7日の行動同様に取組みを行いました。2日間で建交労ビラ・ティッシュ500枚、ボールペン60本、マスク、トラックビラ120枚配布、コロナアンケート・60枚集約、3日間の総移動・宣伝行動距離は537キロとなり福岡トラック部会として初めての取組みである「九州一周トラックキャラバン」の前半戦は無事に終了しました。また5月に「九州一周トラックキャラバン」後半戦の大分・宮崎・鹿児島による宣伝行動にも奮闘していきたいと思っております。

首都圏トラックパレードを3年ぶりに実施 22 春闘・賃上げを都民にアピール

3月13日（日）建交労東京トラック部会・埼玉トラック部会主催の首都圏トラックパレードを葛西トラックターミナル近物レックス株式会社様の場所を借りて行われました。この首都圏トラックパレードは、この間新型コロナウイルス感染拡大が原因で3年間中止延期となり2019年以来の開催となりました。

当日は、首都圏では、まん延防止適用期間中でもあり、参加者は、トラック15台・宣伝カー3台・乗用車3台・新聞記者2名との参加がありました。

午前9時より開会式が行われ東京トラック部会の冒頭矢島副部長（豊島運送支部）より挨拶があり、新型コロナウイルス感染で制限されるこの世の中、エッセンシャルワーカーとして感染リスクと闘うトラックドライバーの現状と、先の物価上昇について、物流コストの値上げについてよく話をするが、物流コストには、燃料高騰・人件費など適正運賃をもらうためやもえないことである。私達は、きちんと沿道の皆さんに訴えていく必要があるとの話がありました。



その後、中央本部より角田委員長、首都圏労使協より成瀬会長（教宣文化社代表取締役社長）東京地評より屋代事務局次長、首都圏交運共闘より舞弓事務局長より激励のあいさつがあり中央本部角田委員長からは、「ウクライナ・ロシアなどの世界的不安情勢による物価上昇・燃料高騰と2023年、2024年の法改正がある上でトラック運輸産業が大きく変革する。改善基準告示などきちんと認識した上で、

いつもと違う春闘になり世間に実態も含めアピールをして頂きたい」と参加者へ呼びかけました。そのあと、奥貫埼玉トラック部会長より決意表明と鈴木埼玉トラック事務局長よりスローガンの確認を行い、開会式は終了しました。その後、10時から3列の梯団を組んで浜離宮庭園迄の車両パレードを実施しました。

途中、門前仲町駅では、東京都本部の仲間（20名）か駆けつけ横断幕を振って頂き激励応援をして頂きました。そのあとパレードは、銀座・新橋を經由し2時間をかけ事故もなく浜離宮庭園に到着し、解散しました。